



Weekly Report



インスピレーションになるう

クラブ・テーマ **Participate Actively, Engage Rotary, Change Lives**
「積極的に参加し、ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

会長 原田晃博
幹事 津多一幸

例会場：割烹「ふな又」 例会日：第2・3・4木曜日
事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp E-mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

原田晃博年度 第31回 通算2691例会

平成31年5月9日

会長挨拶

第56代会長 原田晃博

皆様こんにちは！今月もロータリー活動にご理解、ご協力を戴き感謝申し上げます。さて皆様の中には靴磨き職人さんに靴を磨いて（綺麗にしてもらう）もらった経験のある方も多いと思います。私自身も東京駅や上野駅、新橋駅で磨いてもらいました。（今に思えば、安価な革靴でした。ちょっと恥ずかしいです。）そんな中、路上から世界に飛び出した靴磨き職人の長谷川裕也さんをご存知でしょうか？2008年6月に南青山の骨董通りに世界初の靴磨き専門店「Brift H AOYAMA」を開店。バーのようなカウンターで靴を磨く斬新なスタイルが話題になりました。以下の文章は皆様ご存知の「抜粋のつづり」（その七十）からの抜粋です。



職業奉仕 「靴を磨き、自己を磨く」 長谷川 裕也

東京・南青山に靴磨きの店を出して1年半になります。さながらお酒が飲めるバーのようではありますが、あえて南青山に出店し、このスタイルを貫くわけは、靴磨きの暗いイメージからはほど遠く、靴磨きのブランド力を高めるために勝負しようと思ったからです。（中略）私は昔から「日本の足下に革命を」と言い続けて来ました。というも、身につけるものの中で一番汚れる靴をきれいにするという事は、人生においても非常に重要なポイントであると思っているからです。きれいな靴を履くと、ぶついたりしないようにしようとか、例えば電車の中で足を踏まれるような隙はつくらないようにきちんと腰掛けようとする心遣いが生まれます。つまり、足下を変えるとその人の姿勢や風格までが変わっていくのです。（中略）私の店には「靴を磨き、自己も磨く、靴に輝きを与え、人生にも輝きを」というキャッチフレーズがあります。つまり靴を磨くことで自分を磨いているのです。磨き続けていると自らの魂が磨かれ、気分が晴れやかになっていくのが分かります。私は靴職人として働き、そのイメージを向上させていく事が今の私の人生の役割だと信じています。そのためならばこれからも挑戦を続けていこうと思います。（掲載の都合上一部抜粋させて頂きました）

.....
いかがでしょうか？「抜粋のつづり」は(株)熊平製作所の熊平源蔵様により創刊され、ロータリークラブなど全国83,000ヶ所の団体・個人に寄贈された冊子です。毎年クラブからいただいておりますが、読むことがありませんでした。先月の研修委員会で塩田会員からあらためて「抜粋のつづり」の紹介があり、今回過去の冊子を何冊か捲っていた時に偶然に見つけたしだいです。有難く拝読いたしました。

幹事報告

幹事 津多一幸

- ・地区米山記念奨学部門より「米山学友会主催 親睦バス旅行」のご案内です。
- ・第4回ライラ研修・修了式のお知らせ
- ・第3・第4Gガバナー補佐よりポリオ撲滅チャリティゴルフコンペの寄付額の報告です。
- ・第4グループ第9回会長幹事会の議事録が届きました。
- ・岩槻東RCより5月の例会予定表、大宮北東RCより週報



地区研修・協議会報告(続)

会員増強部会 三浦宣之

会員増強は、永遠のロータリーの課題であり、即効性のある処方箋はございません。手をこまねいては会員数は自然と減っていき、残された会員に大きな負担と課題として重くのしかかってきます。そうなる前に、会員1人1人が考え行動することが必要なのではと思います。まず会員候補者の選定・勧誘といった具体的な行動に工夫をこらし、名簿を作成し、その名簿を活用して忍耐強く勧誘していくことが大事だと思います。またクラブの公共イメージ、ロータリーの認知度の向上をはかり、ロータリーを多くの方々に知ってもらうことも重要です。その機会の1つとして、小林ガバナーの重点目標の1つであるポリオ撲滅活動をアピールして、認知度を高め、会員増強のアピールポイントに使うのも有意義だと思います。SNS等を使って奉仕活動の情報を発信し、クラブの楽しさを社会にアピールすることも重要ではないでしょうか。

また、次年度小林操ガバナーは地区数値目標を2770名、また女性会員の増強、40歳未満の会員の増強に力を注いでいきたいと考えております。女性会員がいないクラブはなぜ自分のクラブにいないのか？ということを感じてもらい女性が入会しやすい環境をつくり、また女性会員が所属しているクラブはクラブ内でより活躍できる場をつくり、女性ならではのきめ細やかな目線でクラブを活性化できるようにして頂きたい。そして増強した会員をクラブ全体で歓迎し大切に大会防止に努めてください。そしてクラブが有意義な奉仕活動を実現し、会員が楽しく懇親を図っていることが、会員増強また会員維持の大前提であることを忘れないでください。



社会奉仕部会 三浦宣之

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造がありますと語っております。まさに地域社会と密接な関係があり、社会的影響力の強いロータリアンの皆様が、

それぞれの立場を生かし、地域社会のニーズに合った奉仕活動を実践することを奨励しております。小林操ガバナーエレクトは、次年度地区運営方針として「ポリオ撲滅活動から、クラブ活性化へ」を掲げております。ポリオ撲滅募金活動など地区クラブ全体で行う奉仕プログラムの推進と、各クラブへの新たな奉仕活動への提案、クラブ活性化のための継続事業の再精査などに努めてまいります。また、ブライダル委員会では、次年度も地区より委嘱された5名のコーディネーターの皆様により新規受付・個別相談を年3回開催とお見合いイベント友愛の広場を2回開催いたします。今年度は2回の友愛の広場に延べ50名参加し7組のカップルが成立しましたが、今年度、成婚カップルは生まれておりません。ブライダル委員会の活動の活性化は登録者の増員がすべてです。各クラブとも数多くのご紹介をお願いします。

地域社会奉仕委員会活動計画

- 1 ロータリー財団地区補助金を活用した社会奉仕事業の支援
- 2 公益財団法人埼玉県腎・アイバンクへの登録推進
- 3 ペットボトルキャップ回収事業の推進。また個々の事例での問題点の改善相談。
- 4 継続事業の再評価、検証、新規事業のアイデアをクラブへ提供。(マイロータリーのロータリーショーケースの活用の推奨)
- 5 自然災害発生時に義援金の募金活動や支援体制について、ガバナーのもと速やかに対応
- 6 点字名刺の普及を推進、障害者の雇用機会の拡大

ブライダル委員会方針

- 1 当地区独自の事業としてブライダル事業の活性化を推進
- 2 クラブの協力を得て登録者を増やす
- 3 コーディネーターと協力して成婚カップルを増やす
- 4 公共イメージ部門と協力しブライダル委員会の意義と成果を広報する

青少年奉仕部会 津多一幸

当地区では皆様ご承知の通り「青少年育成・インターアクト」「ロータリーアクト」「青少年交換」「ロータリー青少年指導者養成プログラム」の4委員会を設置して活動してまいります。各委員会の活動を尊重しつつ、縦割りの活動で終わることなく、委員会間相互に関わりを持つことで、世代や国を超えた多くの人たちとの新しい出会いの場を提供し、青少年の将来への準備に役立つ感動の場となる様、活動に取り組んでいきます、との事でした。

青少年育成・インターアクト委員会

- ・活動に消極的なクラブ・インターアクターを無くしていく。
- ・顧問教師会との交流を増やす。
- ・第3750地区インターアクト交流事業の継続。

ロータリーアクト委員会

- ・会員増強およびクラブ提唱支援・RYLAなど、他のロータリープログラムをロータリーアクトに紹介する。
- ・奉仕プロジェクトでロータリークラブと協力する機会がある事をロータリーアクトに伝える。
- ・2019-20年度R I年次目標を実行する。

RYLA 委員会

- ・RYLA とは14~30歳の若者を対象にスキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的水準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ場です。
- ・RYLA を通じて、地域社会の若者達が職業人として、また良き市民としての資質を養い、これからの時代を担うリーダーへの可能性を高める事を目的としています。

青少年交換委員会

・青少年交換プログラムは、16~19歳を対象としています。親善交流を通じ、国際理解の向上、平和といったロータリーの価値観を学ぶ場です。世界平和の推進に寄与する事を目的としています。2020-21年度の特徴として、保険整備の進歩により、万が一の事態が起こった際(受入れ学生に)クラブの負担が従来よりも格段に軽くなったとの事です。

国際奉仕部会 鈴木真樹

海外でのプロジェクトを増やす為にも国際奉仕活動に対して

のご理解を頂き、より多くのクラブが国際奉仕活動に参加していただけるようなお手伝いをさせていただきます。

管理運営部会 出山知宏 代: 増岡昌行

次年度R Iテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」モットーに掲げました。そして、4つの協調項目を提示しております。クラブ内の強化、家族の参加、働き盛りの世代でもリーダーが務まる環境整備、国連をはじめとする、グローバルな組織との連携です。

そして、会員増強、拡大については、せっかく若い人が入会してもロータリーを失望して辞めてしまう現状を、穴の開いたバケツのようなものであり、何とかしなくてはなりません。管理運営部門は、このバケツの穴を塞ぐ役割を果たさなくてはなりません。クラブにおいてはロータリーの基本的情報を会員ひとりひとりに知ってもらおう。このためにクラブ内研修会を活用していただきたい。あまり堅苦しい雰囲気の中で。情報はR I ホームページや友誌から十二分に引き出すことができます。地区のR L I も別の意味で大変有効です。色々なクラブの人たちと出会って、楽しい雰囲気の中で意見交換ができます。また小林ガバナーエレクトは地区運営方針をポリオ撲滅活動からクラブ活性化へ掲げ、各クラブは地区運営方針に基づき、目標を実践するため、それぞれのクラブが効果的なクラブ、元気なクラブになっていただきたいと思います。

幹事部会 増岡昌行

幹事部会は地区への報告書類の説明が殆どで、幹事の責務として、幹事はクラブを運営していく中では重要な役割で、発言はなるべく控え、会長を支え、クラブを活性化するためには、幹事としてクラブ内で発生する様々の事にどのように対処するかによって、クラブが活性化するためには、幹事としてどのような心構えをするかを考えて責務を果たすかによると思います。



スマイルBOXより

メンバー(50音順)

小田光司 菊地 廣 木村郁夫 鈴木 隆
鈴木真樹 関根信行 田畑寛樹 津多一幸
中村 正 原田晃博 増岡昌行 三浦宣之

🌸ご芳志ありがとうございました🌸

スマイル報告	
本日のスマイル合計	15,000円
年間累計額	551,000円

出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
28	13		3	57.14%